

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-763

(P2015-763A)

(43) 公開日 平成27年1月5日(2015.1.5)

(51) Int.Cl.
B 6 5 B 13/00 (2006.01)F 1
B 6 5 B 13/00テーマコード (参考)
3 E 0 5 2

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2013-139230 (P2013-139230)
(22) 出願日 平成25年6月14日 (2013.6.14)(71) 出願人 513167197
小須田 昭
長野県佐久市白田2520
(72) 発明者 小須田 昭
長野県佐久市白田2520
Fターム(参考) 3E052 BA01 JA20 LA17 LA19

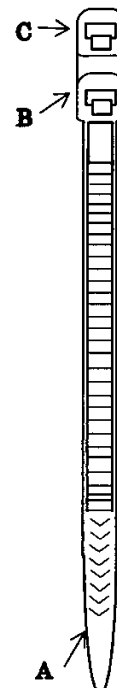
(54) 【発明の名称】 結束用バンド

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 複数の束などを結束するとき、使いやすいうように結束バンドに結束部を設けた多重結束用バンドを提供する。

【解決手段】 結束用バンドのバンド部分Aに結束部Bを設け、結束部Bにさらに結束部Cを設けた結束用バンドを特徴とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結束用バンドのバンド部分（A）の一端に結束部（B）を設け、結束部（B）にさらに結束部（C）を設けた結束用バンド。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、結束用バンドの一端に結束部を設けた結束用バンドに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、結束用バンドは木、配線などを1つの輪の中に束ねることになっていた。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

これは、次のような欠点があった。

従来、結束用バンドは1つの輪の中に束ねることしかできなかったため、複数の物を強固に固定することが出来なかった。また、輪を増やすには結束用バンドを増やすので困ることが多かった。

本発明は、以上のような欠点をなくすためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

結束用バンドのバンド部（A）の一端に結束部（B）を設け、結束部（B）にさらに結束部（C）を設けた。

本発明は、以上のような構成よりなる結束用バンドである。

【発明の効果】

【0005】

結束用バンドに結束部が増えたので輪を2つ以上にする必要になったときでも結束用バンドを増やす手間が省ける。結束箇所が1つでも、複数でも結束出来るので使うのになんらさしつかえない。

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図1】本発明の正面図である。

【図2】本発明の側面図である。

【発明を実施するための形態】

【0007】

以下、本発明を実施するための形態について説明する。

結束用バンドのバンド部分（A）の一端に結束部（B）を設ける。

結束部（B）にさらに結束部（C）を設ける。

本発明は、以上のような構造である。

これを使用するときは、1つ目の束ねたいものをバンド部分と結束部（B）で束ね、2つ目に束ねたいものを結束部（C）で束ねて固定すればよい。これにより、2つの輪が出来、1つ目の輪は自由に大きさが変わり、2つ目の輪は束ねるものを固定することが出来る。また、1本目の結束用バンド部分を2本目の結束用バンドの結束部を通すとさらに輪を増やすことが出来る。

【符号の説明】

【0008】

A バンド部分

B 結束部

C 結束部

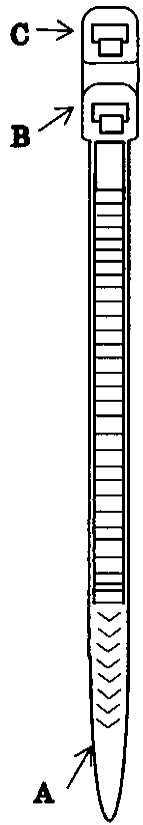
10

20

30

40

【図 1】



【図 2】

